

講義コード		科目区分	専門教育科目
(フリガナ)	ニホンノサンギョウトキギョウ	(フリガナ)	アラカワ ケンイチ
授業科目名	日本の産業と企業①⑩	担当教員名	荒川 憲一
英文授業科目名	Japanese Industries and Firms		
基準年次(開講期)	1年(前期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	木2限/浅草, 木4限/池袋		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	産業と企業の盛衰、産業政策、政府と市場、経営者、企業とイノベーション		
授業概要・目的	過去から現在に至る日本の産業と企業の盛衰を、代表的企業を通して知り、日本の産業と企業の特徴を歴史的・文化的背景も含めて包括的(全体的)に理解できる。		
到達度評価の評価項目	日本の産業と企業の特徴を具体的事例から把握できる。各産業や企業の資料・情報を収集し問題設定ができる。各学生が関心のある産業・企業についてはその盛衰を分けたものについて論理的に説明することができる。		
授業計画			
第1回	ガイダンスオリエンテーション 授業の進め方、日本の産業と企業を学ぶ意義		
第2回	開国・明治期(1850~1905年)の日本の産業 繊維産業(製糸・紡績業) 日本の産業革命 現代の繊維産業 素材産業(炭素繊維)として復活		
第3回	明治~昭和の重工業① 製鉄業 八幡製鉄から新日鉄まで		
第4回	明治~昭和期(1850~1970)の重工業② 造船業 三菱長崎造船所、川崎造船、三井造船(第二次大戦前から現代まで)		
第5回	日本の貿易と海運、商社 戦前・戦後 ベトナム戦争時(1960-75年)の日本の産業 大阪商船とニューヨークシャトル便(1920年代) 高度成長期(1960年代から70年代)の日本の産業と貿易		
第6回	日本の航空機工業(戦前・戦中の急速発達と戦後の復活) 三菱、中島航空機工業の場合		
第7回	日本の機械工業(特に工作機械工業) ファナック、オークマなどロボットや工作機械メーカー健在		
第8回	第二次大戦下の日本の農業 石油産業、石炭 電力エネルギー産業 日本の農業とエネルギー産業について、第二次大戦中を焦点に考える		
第9回	自動車・オートバイの大戦後の急速発展 ホンダのケース		
第10回	電子・電機・家電 大戦後、高度成長とバブル崩壊 その後 パナソニック・ソニー 栄光と挫折		
第11回	コンテンツ産業 アニメ・映画・漫画 (大戦後の復興と映画産業の興隆、縮小 復活) 映画産業とテレビ、漫画、ネット、アニメ		
第12回	流通・物流業1 宅急便、クロネコヤマト		
第13回	流通・物流業2 コンビニ(セブンとファミリーマート)		
第14回	新しい産業と日本企業の対応 IOT, IT, ECならびにサービス産業(観光業も含む)と日本的経営		
第15回	まとめ 日本の産業と企業の今後の展望 企業の盛衰を分けるもの 継続的観察		
教科書・参考書等	各回、配布資料を用意する。以下、予習・復習にあたる参考図書を紹介する。橘川・平野・板垣(編)『日本の産業と企業』(有斐閣、2014年)		
授業で使用する機器等	各回配布資料を用意する。ほか、ビデオなどの映像資料		
予習・復習へのアドバイス	各回とも講義内容を確認し、参考文献資料を読む。		
履修上の注意・受講条件等	専門共通科目		
成績評価の基準等	以下2つの観点から評価する 1) 授業に取り組む姿勢(50/100) 2) 試験(50/100)		
メッセージ	遅刻厳禁。授業中の飲食禁止。携帯電話の電源は切り、机の上には置かずには置しておくこと(各種障害のために携帯電話が必要な場合は申し出ること)。		
オフィスアワー	木曜日の昼休憩(12:00-12:50)、5時限目		
その他			